



看護部管理室



看護部管理室は、看護部顧問、看護部長、副看護部長4名、看護部総務課長1名、教育担当兼外国人看護師臨床支援ナース1名、海外事業担当看護師1名、事務職員2名の11名が勤務しています。

当院は、札幌市南区にあり障害者施設等一般病棟、医療療養病棟、回復期リハビリテーション病棟で構成する回復期を担う病院で、介護医療院を併設しています。

看護部理念は「私たちは、患者さんの歩んできた人生を尊重し、専門職としての知識・技術・態度をもって心に寄り添う看護を提供します」です。一人ひとりの患者さんの人生や思いを大切に、患者さんの生きる喜びや活力がもてる療養環境づくりと、病気や障害を持ちながらも慣れ親しんだ環境に戻り、その人らしく生活できる支援、そして最期まで生を全うできるよう心のこもったケアの実践に力を注いでいます。

病棟をラウンドすると「ちょっときてカンファレンス」が行われ、看護職員と介護職員に加え、その時々で必要な職種が集まって患者さんのケアを検討しています。また、ハンドマッサージやフェイスケアなど手を用いた「あいちゃんケア」の場面では、患者さんの笑顔や職員の優しいまなざしに出会います。

患者さんに満足していただけるケアを提供するためには、ケアの実践者である看護職員、介護職員一人ひとりがやり甲斐をもち、いきいきと働き続けられる環境が大切です。看護部では、学ぶ機会の提供や働きやすい環境を整えるように日々取り組んでいます。